



～夢・未来へ～
町民と議会をつなぐ

第94号
令和4年8月3日

勿津町議会だより

議会改革

〈特集〉 議会報告会 ……2～5
令和4年第2回定例会 ……6
一般質問 ……7～11
常任委員会活動 ……12～13
一部事務組合・私も一言 ……15
議会のおごき・編集後記 ……16



QRコード

告会を開催～

議会改革

らない。」等の町民の声を受け、全議員で協議した結果、告会を開催した。

司会 桑原 猛
 議長挨拶 上村和正
 意見交換 塩田正治

報告①議員定数の削減について
 議員定数等調査特別委員会の
 大川良樹委員長から、説明を
 行った。(定数削減の詳細は議
 会だより93号を参照)

報告②令和3年の活動について
 各議員は担当ごとに、説明を
 行った。

- ・議会の仕組み 土屋 貴
- ・陳情・請願 仲 里司
- ・議員の活動 遠藤嘉規
- ・議会の活動
- ・一部事務組合議会
- 東河環境センター議会 稲葉 静
- 下田メデイカルセンター議会 渡邊昌昭
- 伊豆斎場組合議会 渡邊 弘
- 下田地区消防組合議会 宮崎啓次

者の声

常任委員会の調査で、他市町を参考に持ってきた事業はあるのか。

意見交換の時間を増やすべき。

意見交換会
2回3回と続ける事を期待する。

町民と議会が気軽に話せる機会を設けて。

説明会の雰囲気
が堅苦しい、もっとフランクで良い。

成功事例を真似て、素早く効率的に実施して欲しい。

議員定数を減らしたメリット、デメリットの説明を。

「議会のしくみ」の説明内容が単純すぎ。具体的な話が欲しい。

～初の議会報

議会改革調査特別委員会は「議会は何をしているのか解
* 活動報告と町民との対話を行う事を決め、5月24日議会報

アンケート一部を抜粋

参加者に行ったアンケートの一部を抜粋しました。意見の多い順に3項目。複数回答可。

議会だよりは何を望む

- ① 写真や図を上手に使って欲しい
- ② 議案の説明を詳しく
- ③ 新コーナーを考えて欲しい

議会が取り組むべき課題

- ① 政策立案の機能強化
- ② 議員の資質向上
- ③ 意見交換会の充実

議員に期待する事

- ① 行政と町民のパイプ役
- ② 町民の利益になる政策提言
- ③ 親しみやすさ

参加

議会のYouTube 配信がうれしい。色々な形で情報発信を。

縦割り行政ではなく、横の連携をしっかりとして欲しい。

町外へ視察に行かなくても、町内に同じ様な取り組みが有る。

請願や陳情の方法を解りやすく説明してほしい。

〓 報告会を終えて〓

河津町議会初の取り組みである事、またコロナ禍と言う事もあり、参加者上限を20名と決めて募集したところ、定員を割り込む状況でした。議会活動を知ってもらう前に、町民への情報発信力の無さを痛感した。

一度の実施で終わる事無く、定期的に町民と議会の対話を行い、そこから出た意見をもとに、政策提言が行える様な仕組み作りが必要だと思う。

町民の声がかかり届く、身近な議会を目指し、継続的な改革ができる議会改革委員会の設置が不可欠だと感じる。

議会改革

調査特別委員会

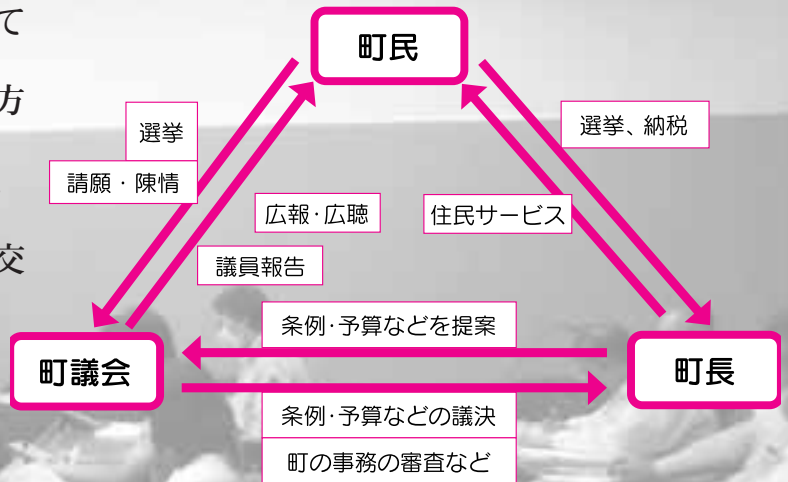
委員長 遠藤嘉規

もっと

素敵な町にするのは “あなた”

～コロナ禍に思うこと～

河津町議会は議会改革の一環として町民報告会の中で一人でも多くの方の声を聞き、町民の意思を反映し、町への提言に結びつけるよう意見交換会を設けました。
参加者の意見を掲載します。



移住関係

- ・ コロナ禍で若い方の移住が増えてきているが、町の施策が追い付いていないのでは。
- ・ 移住者同士が口コミという形で交流を持っているが、もっと町として移住支援を行ってほしい。
- ・ まさにコロナ禍に移住してきた。移住者と地元の人との交流の場が増えると嬉しい。

医療関係

- ・ 感染リスクがある前提での医療体制の充実を。

とめや、アンケートを使った手法を取り気軽に意見ができる

教育関係

- ・コロナが蔓延しだしたところで子供の入学にあたり3年間行事というものに触れてこなかった現状がある。早く取り戻し健全な学校生活になれば。
- ・小学校が統合し、クラスの人数が増える。どんな感染対策がされるか、何に気を付けるべきか不安。

地域関係

- ・地域での子供が楽しめるイベントがなくなった。子供が楽しめるイベントを復活してほしい。
- ・地区の会合なども中止になっているが、ワクチン接種が3回終了していれば何かしら緩和処置を打ち出してもらえば動きやすい。
- ・コロナ禍で子供たちの笑顔を取り戻したい思いから、NPO法人を立ち上げる等、感染対策もしながら活動してきた。たくさんの声を聞いてもらい、みんなで考えて住みよい町が作られればと感じる。

産業関係

- ・感染対策を行い各宿泊施設も頑張っているが、平日の宿泊は落ちている現状がある。町全体で活性化する施策がほしい。
- ・何でもやってはダメでは経済が落ち込んでしまう。活性化のために、町主体でなくても観光協会等でも小さいイベントからできればよいのでは。
- ・遠方の観光客だけでなく伊豆半島周辺の方々にイベントなどの交流の場で河津の魅力を発信していけば良いのでは。



副委員長 桑原 猛

議会改革調査特別委員会

をしてまいります。

に結び付けるよう調査・研究

感じます。

等を聞くきっかけになったと

おります。

加くださった方には感謝して

ただき、人数制限のある中参

意見交換会を終えて



情報関係

- ・町民の意見のとりま調査などは、SNS入れられれば誰でものではないか。

令和4年第2回町議会定例会（抜粋）

令和4年第2回定例会が6月7日～8日の2日間の日程で開催された。報告案件1件、専決案件2件、条例案件3件、令和4年度補正予算2件が上程、閉会前に契約案件2件が追加上程され、全10議案が慎重審議の結果、すべて原案通り全会一致で承認・可決された。

注目 子育て支援施設工事再延期 11月開館予定!!



岸 重宏 町長

行政報告（抜粋）

●河津バガテル公園指定管理者選定業務について

令和5年度からの民間事業者による指定管理業務委託を目指し公募を行った。現地説明会に6事業者の参加があった。6月下旬までに選定結果を決定する。

●新型コロナウイルス感染症対応経済対策事業について

停滞している町内経済を循環させるため、50%プレミアムをついた「河津応援プレミアム商品券」を発売する。予約申込額は、プレミアム分を含め総額9000万円となる。

●子育て支援施設建設事業について

令和4年7月までの工期だったが、新型コロナウイルス感染症等の影響により、資機材の調達遅れ、鉄骨加工の技術者不足で、工期内の完了が困難となった。9月末まで再度工期を延長し、11月の開館を目指す。

●町民体育大会について

各地区へ開催意向調査を実施、回答の結果は、少子高齢化や人口減少により参加者を集めることが困難との意見が多く、各地区の現状を勘案し、今年度の大会から閉会することとした。今後は個



賑わっていた頃の町民大会

人参加型等の代替事業を計画していく。

可決された議案（抜粋）

●専決案件

●河津町税条例等の一部を改正する条例について

内容

・個人住民税における所得税の住宅ローン控除限度額の変更

・土地に係る固定資産税の負担調整措置について、令和4年度に限り、商業地等に係る課税標準額の上昇幅を2.5%に軽減する。

●補正予算

●令和4年度河津町一般会計補正予算

主な内容

・住民税非課税世帯等臨時特別給付金
・子育て世帯生活支援特別給付金
・防災情報伝達システム設計委託料

●条例案件

●河津町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について

内容

・妊娠・出産・育児等と仕事の両立支援のために講じる措置に準じて、非常勤職員の育児休業を取得しやすい環境整備のための改正

●契約案件

●令和4年度河津町スクールバス購入その1契約

内容

・来年度から運用が開始となるスクールバスの内、29人乗りバスを3台購入するため、株式会社伊豆バスと契約

●町道荻ノ入1号線（初景橋）橋梁改修工事請負契約

内容

・道路メンテナンス事業として改修工事を行うため、東海建設株式会社と契約

町政を問う

一般質問



くわ はら たけし 議員
桑原 猛

動画にて議会の様子がご覧いただけます



閉校する東小学校

質問 自然エネルギー活用事業に多様な拡充は

答え 蓄電池の補助等検討したい

質問 第3次河津町地球温暖化対策実行計画事務事業編が3月に策定されたが具体的に実施する取組はどのようなものがあるか。

行ってきた。

町長 公共施設への設備導入事業、太陽光発電事業や小水力発電事業、電気自動車急速充電器設置事業、広域によるごみ処理施設の改良事業などを

町民生活課長 冷暖房や照明、OA機器等の使用時の取組といった従来からの取組のほか、太陽光発電等の再生エネルギーを積極的に取り入れることや省エネルギーの推進等の取組などを新たに追加した。

テム等への拡充の考えがあるか。

町長 エネルギー対策だけでなく、災害時の電力確保の重要性も増している。充電池等の開発により、供給時間の問題も考えられるが、それらを総合的に考え、今後は蓄電池の補助等についても検討してみたい。

質問 建築基準条例との整合性は

答え 必要であれば安全対策工事も想定される

質問 小学校統合後の空き校舎等の活用についてどのようなスケジュールで行っているのか。

町長 公共施設整備検討委員会では基本的な今後の方針について協議をいたしてきた。現在は、人選作業中。地元の意見等も配慮しながら検討してきた。しかし町として民間事業者との関連の中で、諮問の結果を待たず

に、学校跡地を含めた公共用地等の活用について、あらゆる方面から検討を進めていきたい。

質問 利活用を考えると、県の建築基準条例に基づく用途制限の範囲内での利用を考えているのか、また基準に沿った大規模な道路整備を行い、利用の幅を広げる考えなのか。

町長 接道要件や、不特定多数の人の出入りが想定される宿泊関係などの事業を考えたときには、安全対策等の工事が必要ではないかと想定をしている。

今後の利用方針を決める中で計画的に検討を進めたい。

他「宿題ルームについて」1件

接道要件や、不特定多数の人の出入りが想定される宿泊関係などの事業を考えたときには、安全対策等の工事が必要ではないかと想定をしている。

町政を問う

一般質問



伊豆縦貫自動車道インター付近



動画にて
議会の様子
がご覧
頂けます



わた なべ ひろし
渡 邊 弘 議員

質問

路線廃止に伴う公共交通のあり方は

答え 公共交通会議で議論し取り組む

質問 自主運行バスの運行、4本が廃止された。どのような経緯で決まったのか。利用者対策はされたか。

町長 地域公共交通会議にて決まった。

企画調整課長 自主運行バス、町営バス、町バス、新たに移動支援事業での対応を考えている。

質問 インター周辺地域振興計画の進捗状況、河津に來てもらう施策と、道の駅などの計画は。

質問

伊豆縦貫自動車道開通準備と発生土対策は

答え 民間事業者も含め町独自で進めている

町長 地域との会合はコロナの感染拡大もあり進んでいない。観光面、商業面など民間事業者の力を借りて施策を考えたい。

質問 全面開通を見据えた計画は。河津の魅力の発信、ブランド事業の取

質問 自主運行バスの運行、4本が廃止された。どのような経緯で決まったのか。利用者対策はされたか。

町長 地域公共交通会議にて決まった。

企画調整課長 自主運行バス、町営バス、町バス、新たに移動支援事業での対応を考えている。

質問

路線廃止に伴う公共交通のあり方は

答え 公共交通会議で議論し取り組む

質問 自主運行バスの運行、4本が廃止された。どのような経緯で決まったのか。利用者対策はされたか。

町長 地域公共交通会議にて決まった。

企画調整課長 自主運行バス、町営バス、町バス、新たに移動支援事業での対応を考えている。

質問 インター周辺地域振興計画の進捗状況、河津に來てもらう施策と、道の駅などの計画は。

質問

伊豆縦貫自動車道開通準備と発生土対策は

答え 民間事業者も含め町独自で進めている

町長 地域との会合はコロナの感染拡大もあり進んでいない。観光面、商業面など民間事業者の力を借りて施策を考えたい。

質問 全面開通を見据えた計画は。河津の魅力の発信、ブランド事業の取

質問 自主運行バスの運行、4本が廃止された。どのような経緯で決まったのか。利用者対策はされたか。

町長 地域公共交通会議にて決まった。

企画調整課長 自主運行バス、町営バス、町バス、新たに移動支援事業での対応を考えている。

議論はされるか。

町長 一度全体を見直し交通空白地域対策をしていく必要がある。対応を検討して、公共交通会議に諮っていく。

企画調整課長 スクールバスの運行は補助金活用事業なので制限についても検討しながら未使用時間の活用を議論したい。

り組みは。東京都の区などとの共同事業の推進は。

町長 地域と話がなかなかできない状況だが、民間事業者も踏まえた中で町独自でいろいろなことを進めている。西小学校だけでなく周辺も含めた開発も考えられる。地元と一緒に進めていきたい。

質問 大量の発生土の処理に協力する意味でも防

町長 発生土の処理は賀茂地区全体で協議を進めている。防災公園の造成用として考えている。他「病院の医療体制」1件

町政を問う

一般質問



おおかわよしき 大川良樹 議員

動画にて議会の様子がご覧頂けます



河津桜まちづくり計画による将来の構造図

質問

「河津桜まちづくり計画」の実行と進捗は

答え 県の「河津川河川整備計画」が完成していない

質問 令和2年3月に策

定された「河津桜まちづ

くり計画」2年間の実行

状況と進捗状況は。

町長 当初の計画では県

による「河津川河川整備

計画」策定に合わせ進め

る方針だったが、現在完

成していないので、河津川

堤の河津桜については進

捗していない。

産業振興課長 桜守人な

どボランティアを中心と

した活動による全体の維

持管理や、原木の維持管

理を進めている。

質問 河津川沿い堤防背

後地整備、桜並木の計画

的な植栽については。

町長 県の河川整備計画

に沿ったなかでやらない

と、手戻りになる可能性

があるので、県と一緒に

進めたい。

質問 新たな拠点づくり

河津桜原木公園の整備は。

町長 道路事業の関係も

あるので今後検討したい。

質問 河津桜サミットの

再検討は。

町長 全国の河津桜を通

じた交流事業、もう一度

どう進めるか検討する。

質問

民間企業との活力の創出は

答え 外部と各課のつなぎ役、「秘書交流係」を設置

質問 大手運送業者の撤

退について、どう思う。

町長 町民からの不安の

声があったので、直接セ

ンターへ行き話しをした

が、決定事項で難しい。

質問 民間企業との共創

とそのビジョンは。

町長 民間企業の力を借

り雇用の創出をしたい。

これまでの行政視点だ

けでなく、それぞれの特

徴を活かし、問題解決を

行い、持続可能なまちづ

くりを進めるために、新

たな魅力や価値を共創の

考えのもとに創り上げて

いきたい。

質問 今後の民間企業と

の活力の創出については。

町長 今年度より「秘書

交流係」を設置し、外部

の受入れや交渉の窓口と

し、各課と外部とのつな

ぎ役とした。新たな指針

のもとで可能性を秘めて

おり大変期待している。

質問 企業版ふるさと納

税の進捗は。

企画調整課長 総務省へ

の届け出は「河津町ま

ち・ひと・しごと総合戦

略」事業とし、官民マッ

チングイベントにも積極

的に参加し、官民協働の

施策を進めていきたい。

町政を問う

一般質問



導入するスクールバスと同型車種



えん どう よし のり 議員
遠 藤 嘉 規

動画にて
議会の様子が
ご覧頂けます



質問 通学バスは利用者要望に合っているのか

答え 中学校の要望を受けて対応している

質問 中学生の通学バスの利用者が少ない。時間が合わないため利用できないと言う声があるが、利用者ニーズにあってないのではないか。

町長 運行に際して年度初めに向けて、学校の要望を受け、教育委員会等も交えて東海バスと協議をして決定している。バ

スの通常営業以外の時間に対応するのは難しい。
質問 次年度から始まるスクールバスの運行と合わせ見直しは行わないのか。

町長 次年度の公共交通対策に係る中で、スクールバスの活用と、自主運行バスを含めた見直しをどう図るかが今後の

大きな課題。中学生のバス利用者の負担軽減の問題なども検討しなければならぬ。
町のバス運行を行うには、できるだけ多くの人に使ってもらうことが大事。そのための見直し作業を今年度中に行い、来年度実施予定なので、ご理解をお願いしたい。

質問 目撃情報のあったツキノワグマの対応は

答え 確認できない。情報収集の段階

質問 見高入谷地区内でツキノワグマの目撃情報があったが対応は。

産業振興課長 5月15日に東伊豆町に目撃情報が寄せられ、東伊豆、河津の猟友会、賀茂農林事務所と連絡を取り、県からは未確認情報ということから、情報収集に努める事になっている。

が上がっているが、住民へのアナウンスは。

町長 町の情報には信頼性が求められる。どの時点で、情報として町民に知らせるか。その判断材料がそろえば必要かと思う。現段階では、ツキノワグマの目撃情報が確実に確認されていないため、発表に至っていない。

の対応は。
産業振興課長 県との協議の中で、熊の出没、徘徊を確認した場合は、安全確保のための現地確認、また状況に応じて、パトロールを行う。必要に応じて注意喚起も町民にされる。

質問 周辺では不安の声

質問 今後発見された時

他「町の情報発信におけるLINEの活用」1件

町政を問う

一般質問



わたなべまさあき 議員 渡邊昌昭

動画にて議会の様子がご覧いただけます



長寿命化工事中の文化の家

質問 文化の家の蔵書保管庫の増設の必要性は

答え 当面、保管庫増設は必要ない

質問 図書館である文化

の家は毎年どのくらいの本の図書を購入しているのか、小学校統合後の本の行き先や建物の長寿命化を考え、保管庫の増設が必要ではないか。

町長 運営委員会などで協議し利用促進を図る。

教育長 毎年1200冊前後が増加している。

現状のままでは4〜5年でいっぱいになるが活用できない書籍や資料を廃棄について協議し、保管場所を確保するので増設の必要はない。統合後の小学校の図書はそれぞれに活用していく。

質問 故人の蔵書の寄贈の受付や子育て支援施設完成後の読み聞かせ室の

活用についての考えは。

教育長 寄贈に関しては「河津町文化の家設置及び管理に関する条例施行規則」に沿って館長承認のもと郷土資料のみを受け付ける。読み聞かせについては図書館に併設することによりすぐ本を手にすることができ、今後も継続していく。

質問 今後の文化財、遺跡等の保存管理は

答え いれまど通り管理運営について

質問 小学校統合により

段間遺跡の郷土資料室の今後の管理、七滝観光センター閉鎖後のジオパークの展示の見解は。

教育委員会事務局長 郷

土資料室は現状どおり展示し、事前連絡を受け、見学できるようにする。

産業振興課長 ジオパークの展示は今後美しい伊

豆創造センターと協議し観光協会で改善していく。

質問 映画「伊豆の踊子」のフィルムが教育委員会

で保管管理されているが観光の面で考えれば産業振興課で管理活用するほうがいいと思うがその考えは。

教育委員会事務局長 湯

ヶ野観光協議会の解散に

他「無形文化財の記録の保存について」1件

現状では観光利用での管理は考えていない。

産業振興課長 現状では

観光利用での管理は考えていない。

伴い、教育委員会が映写機と4本のフィルムを引き継いだ。「伊豆の踊子読書感想文コンクール」等の機会に上映会を計画している。

等

の機会に上映会を計画している。

等

の機会に上映会を計画している。

5月12日～13日 第1常任委員会視察研修

がんばらまいか佐久間

国内初

「過疎地有償運送事業」
通称「NPOタクシー」

平成17年に浜松市と合併し、人口2847人（令和4年4月現在）の旧佐久間町は高齢化率63%、まちを支える、「NPO法人がんばらまいか佐久間」を視察した。



初代NPOタクシー

○過疎地有償運送とは

公共交通機関が通っていない交通空白地域で、住民の移動手段が確保できないと認められる場合において、NPO法人などが家用自動車（白ナンバー）を使用して有償運送する運行形態。

がんばらまいか佐久間「NPOタクシー」は

「がんばらまいか佐久間」の会員が利用でき、佐久間町内を基本として運行。月に200人ほどが利用しており、通院や買い物など住民の足として利用されている。

予約制ではあるが、民間のタクシー半額程度の料金で利用でき、バスよりも利便性が高いことが特徴。

課題として、人口減少によって利用者が減少した場合に、サービスをいかに継続するのかがという点が挙げられた。

その他の事業

- ・エネルギー地産地消（バイオマス発電）
- ・アワビの陸上養殖
- ・敬老会開催（高齢者番付表）

静岡県庁にて勉強会

地域交通課、地域振興課の職員を講師に、①路線バスの現状と課題、②

集落支援員制度について理解を深めるため、勉強会を行った。

①路線バスの現状と課題

路線バスの維持、活性化のための法律をはじめ、具体的な事例や制度について説明を受けた。

質疑の一部

質問：小学校統合もあり、スクールバスの公共交通として利用も検討しているが、良い事例はないか。

回答：スクールバスの路線バスとしての利用は可能。全国的にも事例があるので先進地に確認してみてもどうか。財源は過疎債や特別交付税も使える。

質問：スクールバスを過疎債にて導入した場合、文科省との調整は。

回答：朝晩はスクールバス、昼は路線バスとして利用することは、文科省より混乗許可を得れば可能。等

②集落支援員制度

集落支援員制度を公共交通事業に活用できないかという点において、制度の内容、活用方法について説明を受けた。

○集落支援員制度とは

自治体が、集落への目配りとしての活動を実施するため、地域の事情に詳しい人材を集落支援員として委嘱できる制度。地域交通の確保、移住・交流の促進などの内容も認められる。上限445万円の活動経費が特別交付税措置される。

駿河湾フェリー乗船 滝浪勇理事長と意見交換

平成31年度から静岡県と3市3町による「一般社団法人ふじさん駿河湾フェリー」を設立、令和元年6月、民間から県が駿河湾フェリー受納、運行開始。

滝浪勇理事長から、駿

河湾フェリーの運航実績、新航路の検討（松崎港）、船内の魅力向上策、旅行商品の企画販売状況、土肥港からの2次交通確保等多岐にわたる意見交換を行った。



フェリー内での意見交換会

東海バス下田営業所 運転手運行管理視察



乗務員の点呼状況を聞く

西伊豆町にて勉強会

星野浄晋町長から電子地域通貨（サンセットコイン）、債券運用、ふるさと納税の取組みの説明を受け、意見交換を行った。



西伊豆町にて勉強会

電子地域通貨（サンセットコイン）

西伊豆町内で利用できる電子地域通貨。消費が町外へ流出することを防ぎ、町内での経済循環効果を生んでいる。



地域通貨 サンセットコイン
146店舗で利用可能（令和4年7月21日時点）

・債券運用

平成30年度から基金残高の10%（6億円）の運用をしていることの説明を受けた。

年度	金額
平成30年度	2,546,842円
利息	2,546,842円
売却益	0円
令和元年度	22,544,056円
利息	3,324,056円
売却益	19,220,000円
令和2年度	7,220,725円
利息	7,110,725円
売却益	110,000円
令和3年度	35,578,353円
予定利息	5,399,353円
売却益	30,179,000円
4年間合計	67,889,976円

▶平成30年度からの運用実績（広報にしいず令和3年11月号）

・ふるさと納税

年度	件数	金額
令和2年度	137,826件	1,782,530,767円
令和3（平成31）年度	303,690件	3,193,699,780円
平成30年度	56,726件	742,466,210円
平成29年度	57,809件	1,121,711,813円
平成28年度	57,135件	1,127,026,893円
平成27年度	43,793件	1,009,476,488円
平成26年度	28,521件	378,125,655円
平成25年度	16件	4,345,000円
平成24年度	17件	5,727,000円
平成23年度	14件	5,203,000円



ふるさと納税をきっかけに、西伊豆町を第二の故郷に！
ふるさと納税に関する質問、ご相談等お気軽にお問い合わせください。
TEL: 0556-42-1114 FAX: 0556-42-1322
・お問い合わせ先 西伊豆町ふるさと納税課 TEL: 0556-42-1114
http://www.town.wakayama.lg.jp/furusato-tax/

第2常任委員会

3月24日

令和3年度第1回河津町社会教育委員会が開催され、第2常任委員長が出席した。

同日

令和3年度第2回学校給食審議会が開催され、第2常任委員長及び委員1名が出席した。

3月29日

河津町文化の家運営協議会が開催され、第2常任委員長が出席した。

4月28日

第2常任委員会を開催した。5月期月例会について他。

5月17日

第2常任委員会を開催した。町内経済の活性化について他。

5月23日

令和4年度第1回学校給食審議会が開催され、第2常任委員長及び委員1名が出席した。

議員月例会

・4月期議員月例会

「河津町の自主運行バス」現状について

・5月期議員月例会

県職員を講師に迎え、「静岡県公式防災アプリ」静岡県防災」の活用について研修を実施した。

静岡県では令和元年6月1日からスマートフォン向け総合防災アプリ「静岡県防災」の運用を開始した。

各種緊急情報の通知からハザードマップの確認、平時の防災学習や避難トレーニングまで災害時に幅広く役立つ機能を備えている。

優れた機能を有するスマートフォン向けアプリであるが議員をはじめ多くの関係者の認知が少ないうことから防災課をはじめ防災活動にかかわる多くの職員も傍聴することができた。

アプリの特徴

● 緊急時の行動サポート

● 防災情報の確認

現在地での防災情報が確認できる。

● 避難所の情報

現在地からの一番近い避難所の情報

● 避難トレーニング

平時に「静岡県防災」の避難トレーニング機能を使用すると避難場所までの経路や要した時間を記録できる。避難経路に各種ハザード用法や津波シミュレーションを重ね合わせることも可能。



アプリのダウンロードはこちらから

議会だより第94号

読者アンケート

抽選で5名様に
「河津踊り子温泉会館入浴券」
プレゼント!!

お名前

ご住所

ご連絡先

読者の皆様のご意見を紙面に反映したく、下記のアンケートにぜひご協力ください。
お名前、ご住所、ご連絡先、各質問の回答をご記入の上、FAX又はメール、郵送（封筒）にて河津町議会事務局宛にお送りください。

締め切り
8月末日必着

- FAX番号・E-mailアドレス：下記参照
- 郵送先：〒413-0595 静岡県賀茂郡河津町田中212-2
河津町役場 議会事務局



スマホで簡単にアンケート
回答ができます

※郵送の際の切手代等は各自ご負担願います。
アンケート回答者の中から抽選で、5名様に「踊り子温泉会館入浴券」を差し上げます。

なお、当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

Q 1 「興味を引いた」あるいは「役に立った」記事は？

Q 2 「議会だより」の記事で目を通したものは？（□にレ点をつけてください。複数回答可）

- P. 2～P. 5 議会報告会 P. 6 令和4年第2回定例会
 P. 7～P. 11 一般質問 P. 12～P. 13 常任委員会活動
 P. 15 一部事務組合・私も一言 P. 16 議会の動き・編集後記

Q 3 議会だよりに対する満足度は、どのくらいですか？（□にレ点をつけてください。）

1. 大変満足 2. まあまあ満足 3. もう少し 4. 不満

Q 4 議会だよりの記事への感想、取り上げてほしいテーマなどがあればご記入ください。

お寄せいただきました情報は、議会だよりで紹介させていただく場合があります。また取材、原稿依頼等をさせていただく場合は、広報編集委員会より改めてご連絡申し上げます。ここでいただきました個人情報は、上記の目的以外に使用することはありません。

議会事務局 TEL0558-34-1957

FAX番号 0558-34-1405

E-mail:gikai@town.kawazu.shizuoka.jp

一部事務組合

東河環境センター議会

し尿処理施設は長寿命化で大規模改良工事へ

令和4年6月1日議会
全員協議会が開催された。
東河環境センターし尿処理施設基幹的設備改良工事について、河津町内見高地区で稼働している東伊豆町との合同し尿処理施設は、稼働開始後33年を経過し、老朽化が進行している。劣化調査及び精密機能検査を行った結果、今後の安全で安定的な施設の稼働を確保するための「長寿命化総合計画」に基づき、長寿命化と二酸化炭素排出量の削減を図るための改良工事を行うことについて説明がされた。

下田地区消防組合議会

消防広域化の取り組みについて

令和4年4月27日議員研修会が開催された。①駿東伊豆消防組合との組合統合、②組合議会の一般質問、③消防施設整備事業計画、それぞれについて経緯を含め説明があった。これは組合議員の情報の共有化を図るためである。

組合統合については平成18年消防組織法改正により「市町村の消防広域化」が法定化された。平成25年4月下田・西伊豆両消防本部の先行広域化が実現、新たな体制で下田地区消防本部が業務を開始した。同年、駿東伊豆消防組合との平成33年の統合を目指す「広域化

の協議に関する覚え書き」も交わしたが、協議が止まっている段階である。消防施設整備事業計画では特にはしご車の更新について、過去26年間幸い出動はゼロであるが、高額な維持費がかかる為、機動性と複合的な機能を併せ持つ「13mブーム付多目的消防ポンプ自動車」の導入を計画している



導入を検討中の多目的消防ポンプ自動車

私モ一言

得意分野を生かして活動したい

乗馬クラブ 天城ホースレizzi代表 鈴木拓郎

私は、10歳の夏に家族旅行で訪れた観光地で乗馬体験をして、馬の魅力に触れたことと「センスがある」と言われたことがきっかけで馬を好きになりました。そのころ家は祖父母が「千萬歳」という民宿をやっている、よく手伝いをしていました。自由が無いのは嫌でしたが、お客さんに褒められたお陰で接客業は好きになりました。

当時、何もとりの無かった私が乗馬に夢中になったことがきっかけで父がミカン畑を馬場にして家族で馬を飼おうと言いつ出したのには驚きましたが、やがて私は、進路にも馬に関係する学校や仕事を選ぶようになり、今では家族で乗馬クラブを営んでいます。

乗馬クラブの仕事は色々ありますが、私はお客様が思い通り乗れるようになった時、喜んでくれる様子を見るのが好きなので、乗馬のレッスンプロをメインにしています。今後は小学校等の乗馬体験活動やバラ専用の馬糞堆肥製造などにも力を入れて、馬を媒体にした事業を進展させ、環境や地域に貢献していきたいです。



馬の世話をする鈴木拓郎さん



上村 和正 議長

議会議長の活動

● 町議会議長職

- 5月
 - ・ 郡議会議長会総会及び議長会議 (西伊豆町)

- ・ 全国町村議会議長会議長・副議長研修会 (東京都)
- ・ 県地方議会議長連絡協議会理事會 (静岡市)
- ・ 県地方議会議長連絡協議会定期総会及び政策研修会 (静岡市)

- 6月
 - ・ 県町村議会議長会総会及び議長会議 (静岡市)

- 3月
 - 県町村議会議長会会長職
 - ・ 富士山静岡空港利用促進協議会理事會 (書面決議)

4月

- ・ 県市町村振興協会理事會 (書面決議)

5月

- ・ 全国町村議会議長会令和3年度決算監査 (東京都)
- ・ 全国町村議会議長会理事會・議會議員共済会理事會・議員互助会理事會(東京都)
- ・ 一般財団法人全国町村議員会館臨時理事會 (東京都)
- ・ 県日中友好協議会2022年度定期総会 (静岡市)
- ・ 全国町村議会議長会理事會及び都道府県会長会・議會議員共済会・議員互助会代議員會 (新潟市)
- ・ 一般財団法人全国町村議員会館評議員會 (新潟市)

6月

- ・ 全国町村議会議長会都道府県会長会視察 (新潟市)
- ・ 県議會議員時局講演會 (沼津市)



全国正・副議長会研修会会場

紙面に掲載されていない町議會議員の活動

- 例月出納検査結果報告 (2月～4月)
- ・ 出納検査結果報告書受領

● 議会運営委員会

- ・ 令和4年第2回町議会定例会について

● 議会広報編集委員会

- ・ 第1回町議会定例会広報紙編集作業
- ・ 第2回町議会定例会広報紙打合せ

議長に要請の諸会合他

- 3月
 - ・ 交通安全対策委員会

4月

- ・ 河津町消防団入団式
- ・ 春の全国交通安全運動街頭広報

5月

- ・ 令和4年度下田警察署管内防犯協会総会
- ・ 令和3年度伊豆縦貫自動車道「天城峠道路」及びアークセス道路網建設促進期成同盟会会計決算監査
- ・ 令和4年度河津町商工会通常総会
- ・ 第83回黒船祭記念式典



3年ぶりに開催された黒船祭

編集後記

今号の議会だよりは議会議改革の一步として実施した議会報告会を特集しました。内容にご意見、感想等ありましたらP14のアンケートにてお聞かせください。町民の皆様のお声をお待ちしております。

(桑原 猛)

議会広報編集委員会

- 委員長 塩田正治
- 副委員長 桑原 猛
- 委員 大川良樹
- 渡邊昌昭
- 遠藤嘉規

定例会日程は河津町ホームページでも確認できます。

議会だよりは定例会ごとに年4回発行しています。次回は10月発行予定です。

議 会 傍 聴 歓 迎 し て お り ま す 。